

最終日

編集：山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年7月26日(日)

【タイムスケジュール】

9時半	決勝観戦
	練習
17時	ホテル着
19時	夕食

【シングルス決勝結果】

男子

○Egor Panyushkin(ロシア) 6-2.6-1 ●Vincent Novelli(フランス)

女子

○Beatriz Villamandos-Lorenzo(スペイン) 7-6(5).6-3 ●Emily Hangstefer(アメリカ)

【選手コメント】

★梶下怜紀

本日は大会最終日でした。

男子決勝はVincent Novelli(フランス)とEgor Panyushkin(ロシア)の対決でした。

全体的にPanyushkinが体力面で上回っていた試合だったと思います。

決勝戦観戦後は、最後の練習を行い、いいイメージで終わることができたと思います。

★鈴木裕将

男子決勝 Egor Panyushkin(ロシア) VS Vincent Novelli(フランス)

1セット目3-4からのNovelliのファーストサーブの確立が下がりブレイクされた時は決着が予想できる試合でした。

最後の練習は、足腰の使い方と打点の高さを調整しました。ボールに重力をしっかりと伝える練習を

帰国しても継続していきたいと思います。

★榛地英征

男子決勝 Egor Panyushkin(ロシア) VS Vincent Novelli(フランス)

お互いサーブ力が高い選手で、ノエル選手はアプローチからのネットプレー、パンシュキン選手はベースラインでのディフェンスからのカウンターが持ち味でした。勝負の分かれ目はダブルフォルトの数であったように思います。

パンシュキン選手のリターンがよかったため、ノエル選手はリスクの高いサーブを選択し、

その分ダブルフォルトも多かったです。パンシュキン選手の圧勝でした。

その後の練習では自分のストロークの体重移動の確認、アジア大会を控えている選手の課題練習などを行いました。

良い練習で終わることができました。

★山口華恵

男子(フランスとロシア)と女子(アメリカとスペイン)決勝どちらも見たが、心技体全てが揃っていて

高いレベルでバランスが取れていることがわかり、かなり強い気持ちがかもった試合だった。

萎縮プレイになりがちな自分にとって貪欲さが足りないなと正直なところ感じてしまった。

練習は、不安を抱えたまま試合に出ないように今の自分に足りないもの(攻め方やリズムなど)を改善して工夫した。

気持ちを切り替えて今後に向けて準備をしたいと思う。

7月20日からスタートした第1回目の世界選手権大会はこれにて幕を閉じました。

日本から応援・支援して下さった皆様、ありがとうございました。